

昇華転写プリント注意事項

印刷について

- ▶ カートリッジやボトル内のインクが無くなったまま印刷するとヘッドに空気が入りノズル詰まりの原因となります。
- ▶ 昇華プリントは190℃の熱をかけて生地やモノを染めていくプリント方法です。化学反応でプリントするため指定色を出すなどの色調整が必要な出力には不向きです。
- ▶ 同じデータを使用してもリピートの際に色が変わる可能性があります。
- ▶ EPシリーズは連続印刷には適しておりません。2~3枚に1回程度クリーニングが必要です。
- ▶ 通常の顔料インクに比べ、昇華インクは乾燥性が高いためノズル詰まりが発生しやすいです。
- ▶ 昇華インクの消費期限は発送後6ヶ月です。

メンテナンスについて

- ▶ 定期メンテナンスとして下記2項目を必ず行ってください。
 1. 毎日必ず電源を入れてください。初期クリーニング動作が終わったら電源を消してください。
 2. 週に2度ノズルチェックを行ってください。ノズル詰まりが発生した場合はクリーニングを何回か行ってください。解消されない場合はヘッド交換修理になります。
- ▶ ヘッドの乾燥を和らげるため使用しない期間は洗浄液カートリッジに変えてメンテナンスを行ってください。
- ▶ 洗浄液カートリッジに交換後、何回かクリーニングを行い、ノズルチェックで透明な洗浄液に変わった事を確認してください。
※洗浄液に変更後も日常メンテナンスを行ってください。
※昇華インクの特性上日常メンテナンスを行っていてもノズル詰まりが発生する場合がございます。

⚠ 昇華インクは詰まりやすいので、必ず定期的にメンテナンスを行ってください。

EPシリーズのインクカートリッジについて

- ▶ オリジナルカートリッジになりますのでインク残量は表示されません。
- ▶ オリジナルカートリッジのためインクの詰め替えをすることが可能です。
※カートリッジは消耗品のため10回程度使用したら交換してください。
※カートリッジが反応しない時は何度か抜き差ししてください。解消されない場合はカートリッジ交換時期です。

EPシリーズのプリンターについて

- ▶ EPシリーズはカスタム機になりますのでメーカー保証が受けられない場合がございます。弊社での無償保証期間もございません。
- ▶ 洗浄液を使用してクリーニングを行ってもインク詰まりが解消されない場合はエプソン修理となりますので、保証書・持込修理依頼表を同封してエプソンに送ってください。
- ▶ EPシリーズは廃液パットが満タンになりますと、印刷が出来なくなります。その際はエプソン修理となりますので保証書・持込修理依頼表を同封してエプソンに送ってください。
【修理参考価格】廃液パット交換…¥6,000~ ヘッド交換…¥10,000~

※エプソンに修理依頼をされる際は必ず持込修理依頼表に『ヘッド交換を希望』と記入してください。

【札幌修理センター】

TEL 011-805-2886 FAX 011-805-2882
〒003-0021 札幌市白石区栄通4-2-7 エプソンサービス(株)

【松本修理センター】

TEL 050-3155-7110 FAX 0263-86-7698
〒390-1243 松本市神林 1563 エプソンサービス(株)

【東京修理センター】

TEL 050-3155-7120 FAX 042-581-6120
〒191-0012 東京都日野市日野 347 エプソンサービス(株)

【鳥取修理センター】

TEL 050-3155-7140 FAX 0857-32-8290
〒689-1121 鳥取県鳥取市南栄町26-1 エプソンリペア(株)

【福岡修理センター】

TEL 050-3155-7130 FAX 092-622-8934
〒812-0041 福岡市博多区吉塚 8-5-75
初光流通センタービル 3F エプソンサービス(株)

【沖縄修理センター】

TEL 098-852-1420 FAX 098-852-1422
〒900-0027 那覇市山下 5-21
沖縄通関社ビル 2F エプソンサービス(株)

昇華プリント転写条件

転写素材	プレス環境など			メンテナンス		
	温度(℃)	圧力	プレス時間	洗濯水温	洗剤	
白色ポリエステル生地	190	低中圧	60秒	20℃以下	中性洗剤	
ポリエステル樹脂をプレコートした陶器やガラス類	190	3~4メモリ ^{※1}	2分半~4分 ^{※2}			

- ▶ 転写後はすぐに転写紙を剥がして下さい。余熱で昇華が進み、にじみになる可能性があります。
- ▶ プレス跡が気になる場合は圧力を下げると軽減出来ます。
- ▶ 転写した際仕上がりの色が薄い場合は、熱が伝わっていない可能性がありますので圧力を上げるか、時間を長くして下さい。
- ▶ 陶器類に転写する場合、上下10mm程度は熱が伝わりにくいいためプリントは避けてください。また、同様にヒーターの開閉部から両サイド10mm程度のプリントもお避けください。

※1 ユーロポートオリジナルマグカップ用プレス機GRANDIS (グランディス) 使用の場合、あくまでも目安になります。基本的にはレバーが上がらない位置よりも少し上の圧力に設定してください。
※2 プレス時間はあくまでも目安になります。転写紙や転写素材など、条件によって異なりますので事前のテストをお願いいたします。